



平成30年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年10月5日

上場会社名 株式会社 薬王堂 上場取引所 東  
 コード番号 3385 URL http://www.yakuodo.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西郷 辰弘  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 小笠原 康浩 (TEL) 019-697-8480  
 四半期報告書提出予定日 平成29年10月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 ( 機関投資家・アナリスト向け )

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第2四半期の業績 (平成29年3月1日～平成29年8月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第2四半期	41,737	10.8	1,906	10.7	2,301	24.4	1,569	35.9
29年2月期第2四半期	37,672	12.7	1,723	33.4	1,850	31.1	1,154	41.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第2四半期	79.49	—
29年2月期第2四半期	58.48	—

(注) 当社は、平成28年12月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。平成29年2月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年2月期第2四半期	36,059	15,563	43.2
29年2月期	32,346	14,369	44.4

(参考) 自己資本 30年2月期第2四半期 15,563百万円 29年2月期 14,369百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期	—	0.00	—	19.00	19.00
30年2月期	—	0.00			
30年2月期(予想)			—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年2月期の業績予想 (平成29年3月1日～平成30年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	83,000	10.8	3,444	8.1	3,972	13.2	2,542	8.9	128.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

30年2月期2Q	19,741,200株	29年2月期	19,741,200株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

30年2月期2Q	975株	29年2月期	975株
----------	------	--------	------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

30年2月期2Q	19,740,225株	29年2月期2Q	19,740,480株
----------	-------------	----------	-------------

(注) 当社は、平成28年12月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。平成29年2月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期損益計算書関係)	8
(追加情報)	8
3. 補足情報	9
(1) 仕入及び販売の状況	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、雇用環境や個人消費の改善が見られ、緩やかな回復基調で推移しているものの、米国の政策運営の動向や北朝鮮情勢などにより、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社の営業基盤であります東北地方においても、個人消費は緩やかに回復しつつあるものの、復興需要が収束しつつあることに加え、チェーンストア業界の競争激化により、厳しい経営環境となりました。

このような状況の中、当社は、販売価格や品揃えの強化を図り、来店客数及び買上点数の増加に取り組むとともに、小商圏ドミナント出店を推進し、ドラッグストアを岩手県に4店舗、青森県に3店舗、宮城県に5店舗、山形県に1店舗の合計13店舗を新規出店いたしました。また、岩手県のドラッグストア2店舗を退店し、当第2四半期会計期間末の店舗数は232店舗（うち調剤併設型3店舗、調剤専門薬局1店舗）となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は417億3千7百万円（前年同四半期比10.8%増）、営業利益は19億6百万円（前年同四半期比10.7%増）、経常利益は23億1百万円（前年同四半期比24.4%増）、四半期純利益は15億6千9百万円（前年同四半期比35.9%増）となりました。

また、部門別の業績は次のとおりであります。

#### ① ヘルスケア部門

医薬品は感冒薬や健康食品等が伸張し、衛生用品では介護用紙おむつ等が伸張いたしました。調剤も堅調に推移いたしました。その結果、売上高は前年同四半期比6.4%増加し、92億8千3百万円となりました。

#### ② ビューティケア部門

化粧品はセルフ化粧品や男性化粧品等が伸張し、トイレタリーではオーラルケアやボディソープ等が伸張いたしました。その結果、売上高は前年同四半期比8.8%増加し、71億2千万円となりました。

#### ③ ホームケア部門

日用品は仕上剤や家庭紙、台所用品等が伸張し、衣料品ではタオル類や履物、肌着等が伸張いたしました。その結果、売上高は前年同四半期比13.5%増加し、54億3千2百万円となりました。

#### ④ コンビニエンスケア部門

食品は飲料や菓子、日配品等が伸張し、酒類ではビール類や酎ハイ等が伸張いたしました。バラエティ部門はペット関連商品等が伸張いたしました。その結果、売上高は前年同四半期比13.0%増加し、199億円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の流動資産は161億5千2百万円となり、前事業年度末に比べ24億5千6百万円の増加となりました。主な増加要因といたしましては、現金及び預金が11億6千4百万円増加したことで新規出店等に伴う商品の増加が9億4千4百万円あったことがあげられます。

固定資産は199億7百万円となり、前事業年度末に比べ12億5千6百万円の増加となりました。主な増加要因といたしましては、新規出店に伴う建物等の有形固定資産の増加が11億9千3百万円あったことがあげられます。

この結果、資産合計は360億5千9百万円となり、前事業年度末に比べ37億1千2百万円の増加となりました。

流動負債は158億9百万円となり、前事業年度末に比べ25億4千3百万円の増加となりました。主な増加要因といたしましては、買掛金が21億3千1百万円増加したことがあげられます。

固定負債は46億8千6百万円となり、前事業年度末に比べ2千4百万円の減少となりました。

この結果、負債合計は204億9千6百万円となり、前事業年度末に比べ25億1千9百万円の増加となりました。

純資産合計は155億6千3百万円となり、前事業年度末に比べ11億9千3百万円の増加となりました。主な増加要因といたしましては、利益剰余金の増加が11億9千4百万円あったことがあげられます。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ11億6千4百万円増加し、28億4千7百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローとそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は35億7千4百万円（前年同四半期比0.5%減）となりました。これは、税引前四半期純利益が23億1百万円となったことや仕入債務の増加が21億3千1百万円あったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は19億2千9百万円（前年同四半期比8.3%減）となりました。これは、主に新規出店に伴う有形固定資産の取得による支出が17億4千6百万円あったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は4億8千1百万円（前年同四半期は1億2千8百万円の収入）となりました。これは、長期借入れによる収入が10億円ありましたが、長期借入金の返済による支出が11億3百万円あったことや配当金の支払額が3億7千4百万円あったこと等によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間においては、概ね計画通りに推移していることから、平成29年4月7日に公表しました業績予想数値に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成29年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成29年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,683	2,847
売掛金	248	340
商品	10,373	11,317
貯蔵品	16	7
その他	1,374	1,639
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	13,696	16,152
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,696	13,893
土地	686	686
その他(純額)	1,439	1,435
有形固定資産合計	14,822	16,015
無形固定資産		
	200	213
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,543	2,551
その他	1,083	1,126
投資その他の資産合計	3,627	3,678
固定資産合計	18,650	19,907
資産合計	32,346	36,059
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	8,185	10,317
1年内返済予定の長期借入金	1,953	1,953
未払法人税等	761	891
賞与引当金	391	463
ポイント引当金	167	195
店舗閉鎖損失引当金	81	74
その他	1,724	1,913
流動負債合計	13,265	15,809
固定負債		
長期借入金	3,650	3,547
資産除去債務	814	893
その他	245	246
固定負債合計	4,710	4,686
負債合計	17,976	20,496

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成29年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成29年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,080	1,080
資本剰余金	1,331	1,331
利益剰余金	11,957	13,151
自己株式	△0	△0
株主資本合計	14,368	15,562
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1	0
評価・換算差額等合計	1	0
純資産合計	14,369	15,563
負債純資産合計	32,346	36,059

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
売上高	37,672	41,737
売上原価	29,260	32,070
売上総利益	8,411	9,667
販売費及び一般管理費	6,688	7,760
営業利益	1,723	1,906
営業外収益		
受取利息	14	13
受取事務手数料	57	60
受取補償金	—	※ 253
固定資産受贈益	25	29
その他	41	58
営業外収益合計	139	415
営業外費用		
支払利息	10	8
固定資産除却損	—	12
その他	1	0
営業外費用合計	12	21
経常利益	1,850	2,301
特別損失		
退職給付制度終了損	37	—
特別損失合計	37	—
税引前四半期純利益	1,812	2,301
法人税、住民税及び事業税	677	794
法人税等調整額	△18	△62
法人税等合計	658	731
四半期純利益	1,154	1,569

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	1,812	2,301
減価償却費	752	817
退職給付制度終了損	37	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	109	72
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△3	△6
ポイント引当金の増減額(△は減少)	16	27
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△91	—
受取利息及び受取配当金	△14	△13
支払利息	10	8
受取補償金	—	△253
売上債権の増減額(△は増加)	△64	△91
たな卸資産の増減額(△は増加)	△429	△935
未収入金の増減額(△は増加)	△150	△192
仕入債務の増減額(△は減少)	1,974	2,131
未払金の増減額(△は減少)	186	124
未払消費税等の増減額(△は減少)	△63	△103
その他	201	84
小計	4,284	3,970
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△10	△8
補償金の受取額	—	296
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△682	△684
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,591	3,574
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,984	△1,746
無形固定資産の取得による支出	△55	△73
敷金及び保証金の差入による支出	△25	△86
その他	△38	△22
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,104	△1,929
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	1,500	1,000
長期借入金の返済による支出	△1,072	△1,103
リース債務の返済による支出	△2	△2
配当金の支払額	△295	△374
その他	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	128	△481
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,616	1,164
現金及び現金同等物の期首残高	999	1,683
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,615	2,847

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期損益計算書関係)

※ 受取補償金の内容

第1四半期会計期間において、当社は大船渡駅周辺地区土地区画整理事業の支障となる大船渡茶屋前店の除却等を内容とする「物件移転補償契約」および「損失補償契約」を大船渡市と締結いたしました。

これに伴い、大船渡市より補償金305百万円を受領しております。なお、受領した補償金から建物等の除却に伴い発生する固定資産除却損41百万円と解体費用等9百万円を控除した金額を「受取補償金」として計上しております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。

## 3. 補足情報

## (1) 仕入及び販売の状況

## ① 仕入実績

当第2四半期累計期間における部門別仕入実績を示すと、次のとおりであります。

部門別	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間		前年同期比 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
ヘルスケア	6,174	20.8	6,531	19.8	+5.8
ビューティケア	4,804	16.2	5,453	16.5	+13.5
ホームケア	3,977	13.4	4,553	13.8	+14.5
コンビニエンスケア	14,726	49.6	16,487	49.9	+12.0
合 計	29,683	100.0	33,025	100.0	+11.3

## ② 販売実績

## イ. 部門別販売実績

当第2四半期累計期間における部門別販売実績を示すと、次のとおりであります。

部門別	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間		前年同期比 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
ヘルスケア	8,724	23.1	9,283	22.2	+6.4
ビューティケア	6,542	17.4	7,120	17.1	+8.8
ホームケア	4,786	12.7	5,432	13.0	+13.5
コンビニエンスケア	17,617	46.8	19,900	47.7	+13.0
合 計	37,672	100.0	41,737	100.0	+10.8

## ロ. 地域別販売実績

当第2四半期累計期間における地域別販売実績を示すと、次のとおりであります。

地域別	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間		前年同期比 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
青 森 県	4,620	12.3	5,025	12.0	+8.8
秋 田 県	4,097	10.9	4,824	11.6	+17.7
岩 手 県	16,408	43.5	17,472	41.9	+6.5
宮 城 県	9,761	25.9	11,158	26.7	+14.3
山 形 県	2,784	7.4	3,256	7.8	+17.0
合 計	37,672	100.0	41,737	100.0	+10.8